

☆留学生便り (35) ☆

ワガノワバレエアカデミーに留学して

高橋 斐乃

皆さん初めまして。私がアスタナに来て4ヶ月が経ちました。私は冬の季節が好きなのでこちらで過ごす初めての冬をとっても楽しみにしています。今年は例年よりも早く雪が降りだしていて、真冬には-35℃にもなるそうなので、どんな景色が広がるのか今からワクワクしています。そして、先10月にはアスタナバレエ団初来日公演では沢山お世話になり、ありがとうございました。

その後のこちらの身の回りのことや、近況など少しお知らせしたいと思います。はじめに、私は15歳から約1年間日口交流協会のロシア語教室に通っていました。16歳からの2年間はロシア、サンクトペテルブルグにあるワガノワバレエアカデミーに留学し今年6月に卒業しました。7月からカザフスタンの首都アスタナにあるカザフスタン国立アスタナバレエ団に日本人バレリーナとして初めて加わりました。

私の住んでいるこの国には日本人は数十人しか居住していないのでめったに日本人に会うことはありませんが、こちらの皆さんはとてもおおらかな気風で親切な方々です。人に恵まれているので、とても充実している毎日です。私は友人をはじめ沢山の方々に「どうしてカザフスタン?!」と尋ねられるのですが、「カザフスタンが大好きだから」って答えます。丁度今から一年前にバレエ団の就職試験を受けにアスタナに着いた時に“ここ好きだな”と感じました。その時の現地滞在はわずかでしたが、その時間の中で“ここでやって行こう”と思いました。

小さい頃からの夢はロシアのバレエ団のバレリーナになることだったけれど、このオーディションが私にとっての大転換となりました。カザフスタンは旧ロシアの一部だったからなのかバレエがとても盛んです。公用語はロシア語ですが、カザフ語

を話します。外見は私達日本人との違いがないので、私がサンクトペテルブルグに居た時に感じた外見から一目で異国人と思われることもありません。その分容赦なく話かけられるのでドキリとする場面もあります。

来年には万博が開催されるからなのではないでしょうか、街の景色も先週と今週では違っているぐらい急速に近代化が進んでいてとてもエネルギー感です。バレエに集中できる環境が整っていますし、生活面ではとても恵まれていてあまり困ることもありませんが、しいていえば電車が通っていないことや、バスも沢山の本数がないのでちょっと不便です。先日買い物に出かけていて目に入った少し先のビルまで行こうと歩き出したのですが、これが歩いても歩いてもまったく着かない!結局着かずじまい…

カザフスタンの広大さを実感しました。私にとって毎日、新たなチャレンジは続いています。

そして、私がこうして大好きな Astana やアスタナバレエ団でバレリーナとして頑張っているのは、奇跡的な幸運が重なり沢山の方々のおかげです。これからも頑張ります。